

或問

沈国威
編

編集後記

『或問』第36号をお届けします。論考が9編、翻訳資料2編が収められています。内容的には歴史学、言語学、文芸史と盛り沢山となっています。寄稿された皆さん、ありがとうございます。

表紙絵は、日本の漢学者、内藤湖南と中国の新文化の旗手胡適です。1866年生まれの内藤湖南と1891年生まれの胡適は、ちょうど25年の年齢差があり、一世代が違うということになります。内藤は、東洋史研究に大きな足跡を残し、胡適は、むしろ人文研究全般にパイオニアとして活躍しました。編集子はいま特に胡適氏が首唱した「言文一致」運動と語彙の関係に注目しています。

さて、予告通り10月に拙著『漢語近代二字詞研究：語言接触與漢語的近代演化』が華東師範大学出版社より出版されました。二字漢語をめぐる語彙体系の近代的再構築と漢字文化圏の語彙交流をテーマとする書物で、6000語以上の二字漢語の語源を解明しようとする内容です。概要は、104頁にある「新刊紹介」をご覧ください。

2019年も、異常気象に振り回された1年です。近頃の天候はもはや異常とは言えず、ニューノーマルになったかも知れません。来年は、オリンピック・イェアです。何とか平穏無事に日々を送れるように祈らざるを得ません。

2000年『或問』が創刊され、はや20年を数えることとなります。元気の内にしばらく続けたいと思います。次号は2020年6月半ば頃を締め切りとしたいと思います。皆様のご寄稿を心待ちにしております。

第36号編集担当：沈国威（2019.12.30）

執筆者一覧

田野村忠温	（大阪大学）
劉 紅	（武蔵野大学）
李 真	（北京外国語大学）
彭 強	（関西大学・院）
周 艶君	（嘉興学院）
王 思齊	（広州外語外貿大学）
劉 重越	（関西大学・院）
陳 旭	（関西大学・院）
萩原 亮	（神戸市外国語大学・院）
千葉謙悟	（中央大学）
竹越 孝	（神戸市外国語大学）
齊 燦	（北京体育大学）
余 雅婷	（台湾中央研究院）
陳 曉	（お茶の水女子大学）

或問 第36号 2019年12月30日発行
WAKUMON No.36 (2019.12)

編集・発行：

近代東西言語文化接触研究会

代表者 内田慶市

E-mail: u_keiichi@mac.com

http://keiuchid.sakura.ne.jp

編集 沈国威

E-mail: shkky@kansai-u.ac.jp

http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~shkky/

事務局：関西大学 文学部 内田研究室

ダイヤルイン 06-6368-3268

564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

郵便振替

口座番号：00950-4-314791

口座名称：近代東西言語文化接触研究会

発行 白帝社

171-0014

東京都豊島区池袋2-65-1

Tel. 03-3986-3271

印刷 遊文舎

頒価 1,500円